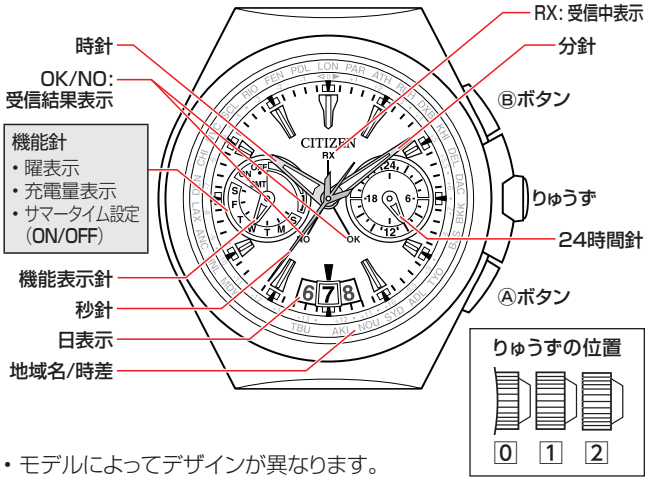
CITIZEN®

H950　簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウオッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。　H950取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

衛星から電波を受信する *位置情報は取得しません

手動受信 1

衛星からの電波を受信するため、受信は屋外で行うことをお勧めいたします。

1. りゅうずの位置を0にする

2. Ⓐ ボタンを2秒以上押す

秒針の尾が前回の受信結果（OK / NO）を指した後、「RX」を指し、受信を始めます。

表示	受信結果
OK	修正された時刻を表示します。
NO	時刻は修正されず、受信操作を行う前の時刻表示に戻ります。

手動受信 2

うるう秒が更新されたときに、お使いください。

1. りゅうずの位置を0にする

2. Ⓐ ボタンを7秒以上押す

秒針の尾が前回の受信結果（OK / NO）を指した後、「RX」を指します。秒針がもう一周して「RX」を指すまで押し続けてください。

前回の衛星電波の受信結果を確認する

1. りゅうずの位置を0にする

2. Ⓐ ボタンを押す

秒針の尾が前回の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	修正された時刻を表示します。
NO	時刻は修正されず、受信操作を行う前の時刻表示に戻ります。

3. Ⓐ ボタンを押して、終了する

ワールドタイムの使い方

ワールドタイム設定を確認する

1. りゅうずの位置を0にする

2. Ⓑ ボタンを押す

秒針が現在のワールドタイムの設定、機能表示針がサマータイム設定を示します。

3. Ⓑ ボタンを押して確認を終了する

- 何の操作もしないまま約10秒たつと自動的に通常時刻表示にもどります。

ワールドタイムを設定する

1. りゅうずの位置を1にする

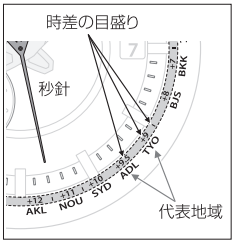
秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

2. りゅうずを回して、時差を設定する

- 時差の設定については、「時差の表示の見かた」と「時差と代表地域の表」をご覧ください。
- 時差の設定を変更するごとに、時刻・日が切り替わります。

3. りゅうずの位置を0にして、終了する

時差の表示の見かた



時計上には、時差の目盛りが40あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

図では、秒針が28秒を指していて、時差の設定は「+11.5」になっています。

- 時差は、UTC（協定世界時）基準になっています。

時差と代表地域の表

UTC 基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域
0	0秒	LON	ロンドン
+1	2秒	PAR	パリ
+2	4秒	ATH	アテネ
+3	6秒	RUH	リヤド
+3.5	7秒	—	テヘラン
+4	8秒	DXB	ドバイ
+4.5	9秒	—	カブール
+5	10秒	KHI	カラチ
+5.5	12秒	DEL	デリー
+5.75	13秒	—	カトマンズ
+6	14秒	DAC	ダッカ
+6.5	15秒	—	ヤンゴン
+7	16秒	BKK	バンコク
+8	18秒	BJS(HKG)	北京／香港
+8.75	20秒	—	ユークラ
+9	21秒	TYO	東京
+9.5	23秒	ADL	アデレード
+10	25秒	SYD	シドニー
+10.5	26秒	—	ロード・ハウ島
+11	27秒	NOU	ヌーメア
+11.5	28秒	—	ノーフォーク島

UTC 基準の時差	秒針の位置	表記	代表地域
+12	29秒	AKL	オークランド
+12.75	31秒	—	チャタム諸島
+13	32秒	TBU	ヌクアロファ
+14	34秒	—	キリスィマスィ島
−12	36秒	—	ベーカー島
−11	38秒	MDY	ミッドウェイ諸島
−10	40秒	HNL	ホノルル
−9.5	41秒	—	マルケサス諸島
−9	42秒	ANC	アンカレジ
−8	44秒	LAX	ロサンゼルス
−7	46秒	DEN	デンバー
−6	48秒	CHI	シカゴ
−5	50秒	NYC	ニューヨーク
−4.5	51秒	—	カラカス
−4	52秒	SCL	サンティアゴ
−3.5	53秒	—	セント・ジョンズ
−3	54秒	RIO	リオデジャネイロ
−2	56秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
−1	58秒	PDL	アゾレス諸島

サマータイムと標準時刻を切り替える

サマータイム設定を確認する

1. りゅうずの位置を0にする
2. Ⓑ ボタンを押す

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

3. Ⓑ ボタンを押して、確認を終了する

サマータイム設定を変更する

1. りゅうずの位置を1にする
2. Ⓐ ボタンを押してサマータイムON / OFFを切り替える

設定	内容
SMT ON	サマータイムが表示されます。
SMT OFF	標準時刻が表示されます。

- ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

3. りゅうずの位置を0にして、設定を終了する

うるう秒を設定する

1. りゅうずの位置を2にする
2. Ⓑ ボタンを押す
   秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「−35秒」のとき	うるう秒の設定が「−65秒」のとき
「0分35秒」を指します。	「1分5秒」を指します。

うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正します。

3. りゅうずの位置を0にして、終了する

時刻・カレンダーを手動で合わせる

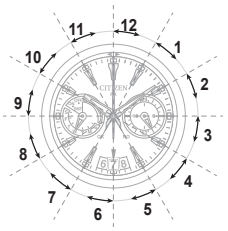
電波が受信できないときなど、時刻 / カレンダーを手動で合わせます。

1. りゅうずの位置を2にする
   秒針が30秒位置に移動します。
2. Ⓐ ボタンを押す
   秒針が0秒位置に移動し、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。
3. Ⓐ ボタンを押して、修正する対象を選ぶ
4. りゅうずを回して、各設定を合わせる
   分針→時針 / 24時間針→日→年月→曜→(始めに戻る)
5. 手順3と4をくり返す
6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にして設定を終了する

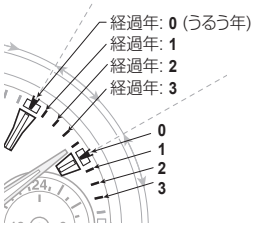
年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。
各数字が月に対応します。



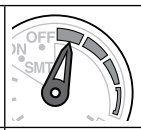
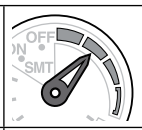
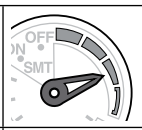
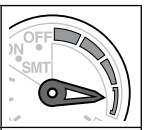
「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

充電量を確認する

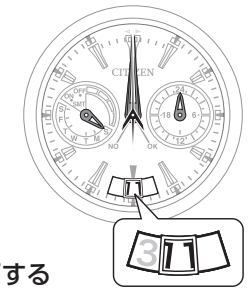
1. りゅうずの位置を0にする
2. Ⓐ ボタンを押す
   機能表示針が充電量を示します。

表示				
接続時間	約2年 ～ 1年	約1年 ～ 16日	約16 ～ 10日	約 10日
	十分充電されている。	安心して使える。	そろそろなくなる。	ほとんどない。
			すぐに充電が必要です。	

3. Ⓐ ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を0にする
2. Ⓑ ボタンを7秒間押し続ける
   正しい基準位置:
   - すべての針:12時位置
   - 24時間針:24時
   - 日表示:「31」と「1」の間
   - 曜:日曜日



3. Ⓑ ボタンを押して、確認を終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を0にする
2. Ⓑ ボタンを7秒間押し続ける
3. りゅうずの位置を2にする
4. Ⓐ ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ
   - Ⓐ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
     曜 / 日→時針 / 24時間針→秒針 / 分針→(始めに戻る)
5. りゅうずを回して、針/表示を修正する
   - りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。
   - 動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
6. りゅうずの位置を0にする
7. Ⓑ ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を2にする
2. Ⓐ ボタンとⒷ ボタンを3秒間以上押して、離す
   秒針が0秒の位置まで動き、その他の針と日がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、ワールドタイムの設定を行い、手動で電波を受信して、時刻とカレンダーを合わせ直してください。